



# 日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.1.23 No.3337

職種	増	減	記事
助役	+6		
事務	△1		津田沼車掌区
運転士	△5		内・外勤△9 本線 +4
車両	△11		
車掌	△12		

「91・3ダイ改」要員関係提案される

## 津田沼運転区統廃合と 大幅な業務移管粉碎!

千葉支社はすぐに乗務員運用を提案せよ

### ＝ 運輸関係各区要員現改比較表 ＝

箇所	職種	現標準数	改訂標準数	増減	記事
京葉運輸区	車掌 運転士	68	82	+14	乗務行路の見直し 乗務行路の見直し(+16) 波動要員の見直し(+5) 指導体制の見直し 2人→3人(+1)
		52	74	+22	
津田沼運転区 習志野運輸区	廃止 新設 区長 役務 車掌 運転士	1	1	±0	※(津田沼車掌区の一部と併合) ※現標準数は津田沼運転区のもの  本線50 指導2 本線50 指導・技術4
		7	10	+3	
		3	3	±0	
		0	52	+52	
88	54	△34			
京葉電車区	運転士 車両	15 36	14 33	△1 △3	外勤 3テ4日→2テ5日 仕業 3テ1日→2テ1日
習志野電車区	車両	74	68	△6	交検 17人体制→11人体制 (2日交検)
幕張電車区	車両	144	144	±0	交検 32人体制→26人体制(△6) (交Bの基本編成を4両) 佐倉派出所の新設 2テ(+6)
幕張電車区 木更津支区	車両	13	11	△2	誘導 1日→廃止(駅に移管) 仕業検査体制の見直し(一人化)
千葉運転区	助役 運転士	9 165	12 170	+3 +5	当直 1テ1(日)→2テ1(日) 交番係の見直し 1テ1(日)を廃止 (△4) 乗務行路の見直し(+6) 波動要員の見直し(+3)
銚子運転区	運転士	87	90	+3	乗務行路の見直し
津田沼車掌区	事務 車掌	6 359	5 260	△1 △99	習志野運輸区の新設(△52) 乗務行路、特改の見直し(△47)
千葉車掌区	車掌	262	269	+7	乗務行路、特改の見直し
千葉車掌区 安房鴨川支区	車掌	30	37	+7	乗務行路、特改の見直し
成田車掌区	車掌	106	113	+7	乗務行路、特改の見直し

館山運転区、勝浦運転区は、要員の増減はなし。

(注) テは隔日交代を示す、日は日勤を示す、(日)は日勤予備なしを示す。

JR東日本千葉支社は、一月二二日「九一・三ダイ改」について運輸関係各区の要員を提案した(資料は関係支部に送付)。

このなかで、一月十日の団交でも「未確定です」と答弁していた津田沼運転区の統廃合が明かとなった。これは、津田沼運転区と津田沼車掌区のうち総武緩行線の車掌業務を統合し、習志野運輸区にするにも、津田沼運転区の運転士三十四名を削減するというものである。

さらに乗務キロでいえば、三三〇・六キロの大幅な業務移管であり、文字どおりの津田沼解体攻撃ともいえる。

さらに検修関係では、交番検査及び全般検査におけるキロタイプを廃止し、月タイプにすることで交検の体制の見直しを行うこととしている(習志野電、幕張電)。

また、木更津支区では気動車の仕業検査の一人化が提案されるなど、検修関係にとっても、大きな問題を含んだ中身になっている。

今次「ダイ改」が、千葉支社で約六九〇キロの列車キロ増にもかかわらず、千葉支社内の運輸関係区の乗務キロの総計では、逆に約三四四キロの減になっていることからも、動労千葉対策であり、ストライキ対策であることははっきりしている。

いよいよ「ダイ改」阻止闘争は本格的火ぶたを切った。ストライキを辞さず闘い抜く体制を職場から強固につくりあげよう。